

入院診療計画書(頬骨折 2日前入院)

ID番号 _____ 氏名 _____ 様 _____ 症状 _____ 病棟 _____ 号室 _____
 病名(他に考える病名) _____ 担当医師 _____ 担当看護師 _____ 担当薬剤師 _____

月日	入院(月日)	手術前日(月日)	手術当日(月日)	手術後1日目(月日)	手術後2日目(月日)	手術後3~6日目	手術後7日目(月日)
経過		手術に向けて準備を行います。	手術前 手術後				
目標	手術の必要性を理解できる 手術の準備が出来る	風邪を引かずに手術が迎えられる	安全・安楽に手術が迎えられる	経口摂取ができる	創部の安静と清潔を保つことができる 安全に歩行ができる 食事が摂取出来る		日常生活の注意が分かり、退院ができる
検査	身長、体重測定を行います				レントゲン検査があります		
処置		腕に名前、血液型、手術部位を書きます	・病院のジャマに着替えて下さい。 ・身につけている装飾品や義歯、眼鏡などはすべて外しましょう。 ・髪が長い場合は、ヘアゴムでまとめましょう。	・帰室後は、麻酔科医師の指示があるまで酸素吸入をします ・心電図モニターを装着します ・尿管が入ってきます	・心電図モニターを外します ・創部の消毒を行います。 ・尿管を抜きます。	創部の消毒を行います。	
観察	1日1回、体温・脈拍・血圧測定を行います。		入室前に体温・脈拍・血圧測定を行います。		1日3回体温・脈拍・血圧測定を行います。口腔内も観察します	毎日14時に体温・脈拍・血圧測定を行います。口腔内も観察します	
注射				点滴を入れて帰ってきます。点滴はしばらく続きます		術後4日目で抗生剤の点滴が終了となり、夜の抗生剤後点滴を抜きます。	
内服	飲んでいるお薬があれば、すべて看護師・薬剤師にお知らせ下さい。			吐気や痛みがある場合はお知らせ下さい。注射や内服薬で症状を緩和します。	疼痛がある場合は、鎮痛剤の内服薬で対応していきます。		
食事	制限はありません。	麻酔科の医師が、食事や水分の指示がありますので、お守り下さい。 月日() 時~ 食べられません 月日() 時~ 食べたり飲んだりできません	術後4時間経ったら診察し、許可が出たら飲水できます。水分を摂ってお変わりなければ、プリンやヨーグルトなどの軟らかいものを食べることができます。	朝から全粥食が出ます。食べられる分だけ食べてみましょう。口腔内に創がある方は、なるべく固い食べ物は避けましょう。	・口腔内に傷がある方は甘い物を控え、口腔内を清潔に保ちましょう		
行動	・活動に制限はありません ・病棟から離れる時は、看護師に声をかけてください。	入浴をし、身体を清潔にします	手術室からストレッチャーで病室へ戻ります。帰室後はベッド上安静になります。頭を30度まで上げることは出来ません	・安静度の制限はなく、歩くことが出来ます。 ・看護師が体拭きのお手伝いをします。 ・洗面は蒸したタオルをお渡しします	医師からの許可が出れば、首より下のみシャワー浴を行うことができます。洗髪は看護師がお手伝いします。	・創部を圧迫したり、ぶつけたりしないようにしましょう。 ・医師の許可がでたら洗顔は可能ですが、創部を強くこすらないようにしましょう。	
説明	看護師より入院生活について説明します。	・手術の準備について説明します ・準備物の確認をします ・午後に麻酔科の医師と手術室の看護師が訪問に来ます	ご家族の方へ手術が終わるまでは、病室または病棟フロアでお待ちください。病棟を離れる時は、看護師にお知らせ下さい。	医師より手術後の説明があります 口腔内に創がある方 医師に確認してから歯磨きをしましょう。また、口腔内を清潔に保つように、処方されたうがい薬で定期的なうがいや歯磨	手術後は顔が浮腫み、視界が悪くなる場合があります。必要時は、看護師が歩行を見守ります。転倒に注意します	・医師より退院後の処置方法や自宅での生活について指導があります ・次回外来受診日の説明があります	

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名: _____ 続柄: _____